

～第3回法人合同研修報告（気になる子とその保護者）～

島田福祉会では常に職員の学習意欲と機会を数多く保障し、職員の資質向上に努めてまいりましたが、更に法人全体での職員教育の充実を図るため、昨年度より「法人合同研修」を開始いたしました。6月27日に行われた第3回目は、特別支援教育の分野でご活躍の橋場隆先生をお招きいたしました。

橋場先生は筑波大学「心理・発達」教育相談室 臨床発達心理士スーパーバイザーとして、教育現場、保育現場、障害児療育現場等において相談・指導業務に従事される傍ら、『発達障がいの子へのかかわり』などの著作からも特別支援教育への理解の浸透を進めていらっしゃいます。また、今年度の大田区保育サービス課主催の「統合保育理論」の講師、2013年度には大森北六丁目保育園の園内研修講師もお引き受けいただいたこともあり、大田区や当法人にとってご縁の深い先生でいらっしゃいます。そのため法人内にも「橋場ファン」は多く、全員出勤日であったこととも相まって、当日は100名を超える参加者がありました。また、事前に各園から事例を提出していたので、それに関する豊富な臨床例を交えての実践的なアドバイスをいただき、該当園以外の職員も強い関心を持って聞き入っている様子を感じられました。予定時間を過ぎてもお話しを続けて下さった上に、その後の個別の質問にも快く対応していただきましたので、職員達も大変感謝し、今後の保育へのヒントも得られたという感想も多くありました。大変密度の濃い内容であったために、時間があっという間に過ぎてしまいましたが、先生からの締めくくりの言葉として“To be continued”と言っていただけで、職員達も「今回の学びをもとに実践を積み重ねて、『次回』には報告ができるように」と、今後の日々の取り組みへの意欲が高められたようです。



職員の感想から（★は島田、★は駅前、★は北六丁目、★は北嶺町、★は北嶺町第二）

- ★橋場先生の研修に3回参加させて頂いています。気になる子の状態、対応そして保護者への対応は、経験を積んでいらっしゃる分的確で具体的にわかりやすいと思います。毎回残念なのが時間が足りないことです。日々、クラス運営に苦慮している保育士が、共通の対応ができるようになるといいなと思っています。（園長・主任等）
- ★楽しく学ぶことができた。また、事例にそって対応の仕方等教えていただいたことから、とてもわかりやすかった。次の研修もぜひ橋場先生にお願いしたい。対応を教えていただいたので、その後の様子を伝え、対応の仕方を引き続き教えていただきたい。（保育士）
- ★発表で少し緊張しましたが、橋場先生の飽きさせない話し方に気持ちも和みました。時間が過ぎてしまっても質問に答えて下さり、不安な気持ちが落ち着きました。今後の課題は沢山ありますが、クラスで話し合っその子にあった保育を行っていきたいと思いました。（保育士）
- ★様々な事例に対しての子どもや保護者への対応についての話がとても具体的でわかりやすく、今後の保育に生かせることがたくさんあり、参考になりました。「問題事態の対応」ばかりに振り回されず、何も問題がない時こそ沢山関わり、強化していきたいと思いました。とても実のある研修でした。ありがとうございました。（保育士）
- ★…(略)…気になる子の背景には、一つの問題だけでなく様々なものが重なり、一つの大きな問題になっていると感じた。また、保護者との関わりについても、話すタイミングや関係性が重要であると聞き、普段からの何気ない会話を大切にしたいと思った。（保育士）
- ★…(略)…どの事例でも1ヶ月経過した時点でそれぞれの成長が見られたという事例担当者の話を聞き、記録の大切さを思った。また、記録を取る際の観察力をしっかりと持っていかなくてはと思った。その際、客観的な部分も忘れずにしていきたい。クラスの保育にいかしていきたいと思っています。（保育士）
- ★ある事例について、“保護者との共有は待った方がよい”とおっしゃっていたことが意外だったため印象に残りました。気になる子については「気になる」部分を保護者と共有し、連携して対応してくものだと思っていたので、必ずしもそうとは限らないということが分かり、勉強になりました。保護者の方から相談できるような関係づくりがまず大切だということが分かりました。（保育士）
- ★「どんな子もかわいい。」「人生の中で初めて出会うのが保育士」という言葉が心に残りました。事例すべては終わらず残念でしたが、各園の困っていることを共通理解できるよい機会なのではと思いました。現場でどう対応をしてよいのか悩んでいる保育士も少なくないので、心理士の先生に定期的に見ていただきたいなと思いました。（保育士）
- ★前回の橋場先生の研修と重複している部分が多く、もうすこし他のところも聞きたかったと思いましたが、良い復習となりました。やはり各園で事例を挙げて各園でやった方がいいのではと思います。（保育士）
- ★保育士が“気になる子ども”に対してよかれと思って行っている援助・支援が場合によっては逆効果になってしまうこともあるのだな、と改めて感じました。保護者対応については、最初の段階では“指示”ではなく“支持”から行うということを学び、今後生かしていきたいと思いました。（保育士）
- ★講義内容がとてもわかりやすかったです。子どもたちが示している言葉や行動の意味も理解することができました。また、不適切な行動が起きてから対処するのではなく、事前に止めていくことがその子の自信につなげていくことができるということが印象に残りました。（看護師）
- ★…(略)…とても内容はわかりやすく、そしてどんな対応が好ましいかを具体的に説明してもらえてよかったですと思いました。興奮している児へのタイムアウト・クールダウンは、障がい児ではない(興奮して泣いている)児にも応用できると思いました。(このときに、対応している職員が興奮していたりする様子が多いように思います)また、ぜひ事例の対応方法を中心に講義を受けたいと思います。（看護師）
- ★橋場先生のお話は、保育に携わっていない私にもわかりやすく楽しく聞けました。改めて保育士さんの仕事の大変さが分かりました。（調理・事務等）